

松江市 報道機関配布資料

令和8年7月 9 日

件名 松江歴史館夏の企画展
「松江の町人太助の日常－つらつら、おぼえ日記－」の開催

【内容】

松江歴史館では、企画展「松江の町人太助の日常－つらつら、おぼえ日記－」を開催します。江戸時代後期の松江城下に暮らした町人太助は、47 歳から晩年までの 29 年間を日記に残しました。本展では、この「^{おぼえ}大保恵日記」を手掛かりに、働き、遊び、神仏に祈りを捧げて過ごした太助の日々と松江の人々のいとなみを紹介します。

◆会 期 7月17日(金)～9月23日(水・祝)

〈休館日〉毎週月曜。祝日の場合は翌平日。ただし、8 月 10 日(月)は開館。

◆会 場 松江歴史館 企画展示室

◆開館時間 9:00～17:00 ※観覧受付は16:30まで

【みどころ】

①江戸時代後期 松江の町人の日々の暮らしを当時生きた人物の目線から紹介

文政 9(1826)年から精緻に綴られた日記は、会話や太助の心の内を交えつつ、日々の暮らしが臨場感たっぷりに描かれています。本展では太助の目線から当時の暮らしを紹介します。

②松江の町人の仕事、交流関係、住まい、娯楽なども紹介

太助が毎年楽しみにしていた娯楽の一つが杵築大社(今の出雲大社)の「富くじ」で、現在の宝くじのようなものです。本展では富くじで使った資料を展示するとともに、富くじをモデルに景品があたる抽選会も会期中に開催します。

③絵図を使って当時の様子を分かりやすく紹介

「松江城下絵図」などを使い、太助の仕事場や住まいの位置や規模感などを分かりやすく紹介します。

【問い合わせ】

文化スポーツ部 松江歴史館 担当:笠井、大島 電話:0852-55-5511

2026

7.17^金»9.23^{水・祝}

[会場] 松江歴史館 企画展示室

[開館時間] 9:00～17:00 (観覧受付は16:30まで)

※オープニング式典のため、7/17(金)のみ展示室は9:30開場

[休館日] 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

※ただし、8/10(月)は開館

[観覧料] 680円(540円) 【松江市民】340円

中学生以下無料

※市民割引にはマイナンバーカードなど、
現住所が確認できるものをご提示ください。

【基本展示室とのセット券】1,030円(820円)

※()内は20名以上の団体料金

※高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金

信心深く、
相撲好き。
殿様御用の
大役も
果たした—

企画展

松江の町人



太助の日常

—つらつら、おぼえ日記—



29年間の日常

書き留めた

200年前

【主催】松江歴史館

【後援】島根県／島根県教育委員会／朝日新聞松江総局／
産経新聞社／毎日新聞松江支局／読売新聞松江支局／
中国新聞社／山陰中央新報社／島根日日新聞社／
新日本海新聞社／共同通信社松江支局／
時事通信社松江支局／NHK松江放送局／
TSKさんいん中央テレビ／BSS山陰放送／日本海テレビ／
山陰ケーブルビジョン／エフエム山陰

- ① 大保恵日記／信楽寺蔵(松江歴史館寄託)／松江市指定文化財
- ② 松平青貴像／月照寺蔵(松江歴史館寄託)
- ③ 小松山富古／個人蔵
- ④ 木造十一面観音菩薩立像／浄音寺蔵／重要文化財
背景：白湯天満宮祭礼図(部分、加工)／白湯天満宮蔵



松江市立
松江歴史館

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
Tel.0852-32-1607 / Fax.0852-32-1611

f X @ で最新情報を配信中!

最新の情報は松江歴史館ホームページにてご確認ください

公式サイトは
コチラから

企画展

松江の町人 太助の日常

— つらつら、おぼえ日記 —



大保恵日記／信楽寺蔵(松江歴史館寄託)／松江市指定文化財

江戸時代後期の松江城下に暮らし太助は、「大保恵日記」と題した日記を4冊残しました。日々の出来事をおぼえておくため、そして後に伝えるために作った日記帳には、太助40代後半から29年間の生活が記録されています。そこには、住むこと、食えること、家族のこと、働くこと、喜びと悲しみ、誕生と別れ、神仏に祈り日々を過ごした松江の町人の姿があります。

太助が記した日記は、全てが伝わっているわけではありません。最も古い日記は文政9年(1826)から11年間の出来事を後にまとめたもので、日付が飛び、内容に粗密があります。他の3冊は弘化5年(1848)から嘉永7年(1854)まで、2年ごとに新調した帳面で、毎日の出来事を記しています。ただし、嘉永3年(1850)の記録が欠けています。

一部欠落はありますが、精緻に綴った4冊の日記は、松江の庶民生活史の宝庫として、松江市の指定文化財になっています。「大保恵日記」を手掛かりに、太助の目を通して、江戸時代の松江の町人の暮らしをのぞいてみましょう。

関連イベント

■ 記念講演会 無料 要申込

おぼえ
大保恵日記と町人太助
～松江城下の暮らし～

9月5日(土) 14:00～15:30

【講師】小山 祥子(松江市史料・埋蔵文化財課)

【会場】松江歴史館 歴史の指南所

【申込先】松江歴史館 Tel.0852-32-1607

※受付時間9:00～17:00、休館日を除く

【定員】60名(先着順)

■ 松江おもしろ談義 無料 要申込

おぼえ
「大保恵日記」の記述を拾う
—太助とその子政次郎の仕事—

8月23日(日) 14:00～15:00

【講師】笠井 今日子(松江歴史館)

【会場】松江歴史館 歴史の指南所

【申込先】松江歴史館 Tel.0852-32-1607

※受付時間9:00～17:00、休館日を除く

【定員】60名(先着順)

■ ギャラリートーク 観覧券必要 申込不要

学芸員による展示解説

7月18日(土)、8月9日(日)、8月26日(水)、
9月12日(土) 各日14:00～15:00

■ イベント “富くじ” 抽選会

太助が毎年参加した出雲大社の富くじをモデルに、景品が当たる抽選会を開催します。

【抽選日】

1回目:8月16日(日)、2回目:9月19日(土)
各回10:30受付開始、11:00から抽選

【会場】松江歴史館 歴史の指南所

参加 企画展観覧者に配付する
方法 抽選会参加券を抽選日に持参。

※抽選日ごとに参加券が異なります。



大社御賑富上り札文句
(出雲市立大社図書館蔵)

信心も忘れる
杵築大社の富くじ

太助が住んだ
松江の城下町



和多見町絵図(松江歴史館蔵)

ACCESS

市内交通バス

■ぐるっと松江レイクライン

JR松江駅より13分
「大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前」
下車徒歩3分

■一般路線バス

JR松江駅より9分「県民会館前」下車徒歩5分
JR松江駅より15分「塩見縄手」下車徒歩1分

自動車

■山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)
■松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、12台、無料)
■松江歴史館敷地内にもいやり駐車場あり

飛行機

■出雲空港へ
東京(羽田)90分/大阪(伊丹)60分/福岡70分/
名古屋(小牧)70分
■米子空港へ 東京(羽田)80分

各空港よりJR松江駅まで

連絡バスが運行しています。

出雲空港(35分)/米子空港(45分)



松江市立
松江歴史館

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
Tel.0852-32-1607 / Fax.0852-32-1611

で最新情報を配信中!

最新の情報は松江歴史館ホームページにてご確認ください▶<https://matsu-reki.jp/>

公式サイトは
こちらから

